

# ごとろう



## 旅立ちの春

転勤や進学のために島を離れる教職員や友達を、別れを惜しみながら見送り、新たな門出にエールを送る、五島ならではの春の風景。



## 3月定例会の あらまし

3月定例会は、3月4日から3月25日までの22日間の日程で開催されました。

9日から11日には、12名の議員が一般質問を行い、12日から23日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、平成26年度補正予算7件、平成27年度当初予算14件、条例等40件、議会議案1件を可決し、人事案件2件を同意しました。

## 目次

各委員会の紹介	P2
平成27年度 当初予算内訳	P3
平成27年度 当初予算主要事業	P4
一般質問	P5
委員会審査	P11
議決結果	P13
賛否一覧表、編集後記	P14

# 各委員会の紹介

議員任期4年のうち2年が経過し、常任委員の任期が満了となりましたので、3月4日、新しい委員会の構成替えを行いました。

## 経済土木委員会



副委員長  
野茂勇司臣



委員長  
谷川 等



委員  
中村康弘



委員  
古川雄一



委員  
清川久義



委員  
網本定信



委員  
林 睦浩

## 文教厚生委員会



副委員長  
明石博文



委員長  
三浦直人



委員  
江川美津子



委員  
草野久幸



委員  
片峰 亨



委員  
木口利光



委員  
野瀬健一

## 総務委員会



副委員長  
村岡末男



委員長  
宗 藤人



委員  
神之浦伊佐男



委員  
菊谷岩雄



委員  
相良尚彦



委員  
橋本憲治

委員長 林 睦浩  
副委員長 三浦 直人  
委員 相良 尚彦  
委員 神之浦伊佐男  
委員 橋本 憲治  
委員 木口 利光  
委員 明石 博文  
委員 清川 久義  
委員 古川 雄一

### 国境離島活性化 推進特別委員会

委員長 村岡 末男  
副委員長 片峰 亨  
委員 宗 藤人  
委員 菊谷 岩雄  
委員 野瀬 健一  
委員 江川 美津子  
委員 網本 定信  
委員 野茂 勇司臣  
委員 谷川 等

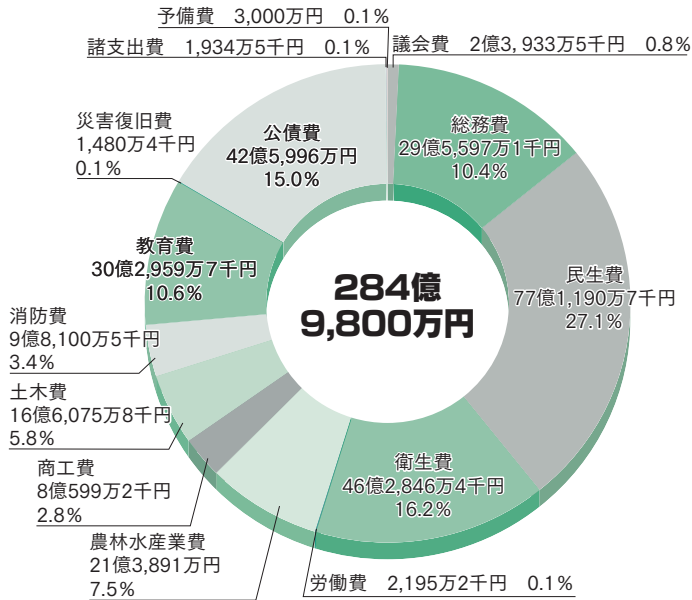
### 交通網整備対 策特別委員会

委員長 木口 利光  
副委員長 神之浦伊佐男  
委員 林 睦浩  
委員 網本 定信  
委員 村岡 末男  
委員 橋本 憲治  
委員 草野 久幸  
委員 相良 尚彦

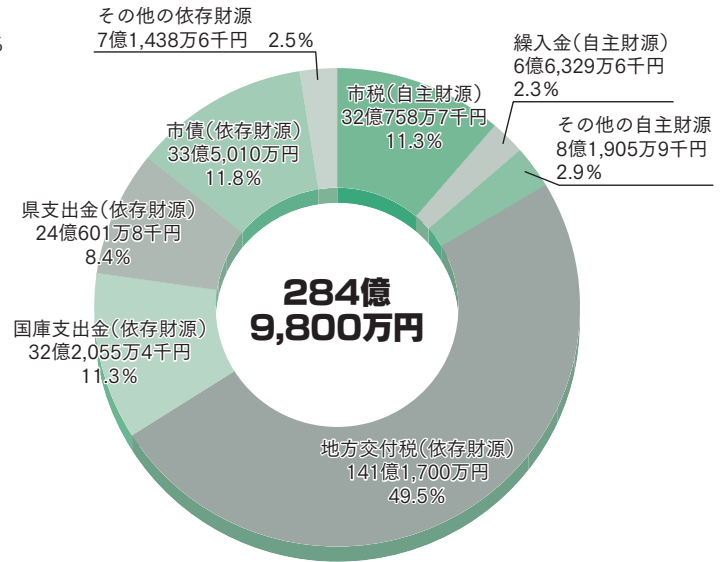
### 議会運営 委員会

# 平成27年度 当初予算を可決

## 一般会計 歳出



## 一般会計 歳入



## 平成27年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

会 計 名	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	
一 般 会 計	28,498,000	29,535,000	△1,037,000	△3.5	
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,749,209	7,080,441	668,768	9.4
	事業勘定	7,254,971	6,548,285	706,686	10.8
	直営診療施設勘定	494,238	532,156	△37,918	△7.1
	介護保険事業	5,777,515	5,944,148	△166,633	△2.8
	事業勘定	5,730,320	5,896,562	△166,242	△2.8
	介護サービス事業勘定	47,195	47,586	△391	△0.8
	後期高齢者医療	503,631	502,672	959	0.2
	診療所事業	77,434	82,202	△4,768	△5.8
	簡易水道事業	672,549	665,751	6,798	1.0
	大浜財産区	6,415	6,919	△504	△7.3
	本山財産区	3,066	2,750	316	11.5
	下水道事業	5,512	5,598	△86	△1.5
	公設小売市場事業	5,387	5,411	△24	△0.4
	港湾整備事業	25,955	25,294	661	2.6
	交通船事業	43,413	42,473	940	2.2
	土地取得事業	96,589	218,124	△121,535	△55.7
小 計	14,966,675	14,581,783	384,892	2.6	
合 計	43,464,675	44,116,783	△652,108	△1.5	

# 当初予算の概要

## 人口減少対策への取り組み

少子化対策事業  
4億5千929万円

### ○妊娠・出産支援

- ・妊婦乳児健康診査事業
- ・離島地域安心出産支援事業
- ・**○不妊治療支援事業**

### ○子育て支援

- ・福祉医療費助成
- ・**○子ども福祉医療費（小中学生の医療費助成）**
- ・**○多子世帯における保育料軽減**
- ・**○認定こども園運営費**
- ・**○富江地区認定こども園整備事業**
- ・子育て家庭支援事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・児童館運営事業
- ・放課後児童クラブ運営事業
- ・放課後児童クラブ開所時間延長支援事業
- ・幼児健康診査事業
- ・**○離島高校生修学支援事業**



子育て支援

定住促進・雇用創出事業  
3千249万6千円

### ○Uターン促進事業

- ・情報発信事業
- ・田舎暮らし支援住宅整備事業
- ・**○空き家バンク利用促進事業**
- ・**○短期滞在住宅改修事業**
- ・**○空き家改修事業費補助**
- ・**○移住相談員**
- 雇用創出事業
- ・雇用対策事業
- ・起業支援補助金
- ・担い手育成確保特別対策事業
- ・漁業後継者育成事業
- ・ゼロゼロ戦略事業

健康づくり事業  
888万5千円

### ○健康診査・健康教育の実施

- ・健康診査事業
- ・がん検診事業
- ・健康教育事業
- ・健康相談、訪問指導、食生活改善推進事業
- ・**○胃がんリスク検査事業**
- ・特定健康診査事業（国保会計）
- ・短期人間ドック検診費補助（国保会計）

## 主要施策への取り組み

再生可能エネルギー推進事業  
961万5千円

- 平成26年7月に国から選定された海洋再生可能エネルギー実証フィールドの利用者の誘致活動
- 平成26年8月に策定した「五島市再生可能エネルギー基本構想及び基本計画」に基づく取り組みの強化
- 浮体式洋上風力発電実用化に向けた取り組み

世界遺産登録推進事業  
2千523万円

- 平成27年1月に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に係る推薦書（正式版）がユネスコ世界遺産センターへ提出されたことに伴って9月頃に実施されるイコモスによる現地調査への対応

- 「五島市世界遺産登録推進協議会」の活動事業に対する助成
- 構成資産（江上天主堂、旧五輪教会堂）管理業務（教会守の設置）
- 旧五輪教会堂周辺の護岸整備及び道路舗装工事の実施

椿振興事業  
4千505万2千円

- 日本一の本数を誇る椿を活用し、五島市の振興を図る
- 自生椿林の整備事業を実施
- 椿林の調査を実施するとともに椿台帳の整備を行う
- 五島列島ヤブツバキ振興協議会への活動費負担
- 椿植栽による椿実収穫増産及び耕作放棄地の解消



昨年佐渡市で行われた離島甲子園

**新第8回全国離島交流中学生野球大会開催**  
4千184万2千円

- 全国の離島の中学生が一堂に会し、野球を通じて交流を行う
- 開催場所…中央公園野球場を主会場とする4会場
- 開催日時…8月24日(月)～28日(金)5日間(予定)
- 参加予定チーム数…22チーム

**地域の絆再生事業**  
5千349万3千円

- 市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する協議会に助成
- 公民館区域を単位とした市内13地区において事業を展開する
- 街路灯電気料金補助金や運動会・体育祭事業費補助金など市が交付する補助金の一部を集約し、交付金として一括交付する

**岐宿地区統合小学校新校舎建設事業**  
5億6千231万5千円

- 岐宿地区の岐宿・川原・山内の3小学校を統合し、新たに校舎を建設する
- 建設場所…岐宿中学校敷地内
- 平成27年度から28年度までの2か年で建設し、平成29年4月の開校を目指す
- 地元産木材を活用した一部木造構造

# 一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)



相良 尚彦 議員

**問** 本市の地材地建への取り組みは

**答** 木材の生産から加工、設計において地材地建に取り組み体制を作っていくきたい

**質問** 本市の地材地建への取り組みはどのようなになっているのか。

**答** 公共施設等木材利用基本方針及び森林づくりアクションプランを策定し、地域の木材利用拡大につなげていくことにしている。今後予定している公共建築物においては、地元工務店や木工所などの建築者サイドも含めて「オール五島」で木材の生産から加工、設計に係る各段階で地材地建に取り組み体制を作っていくきたい。

**地域プレミアム付商品券による消費拡大を**

**質問** 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した地域プレミアム付商品券による消費の拡大としては。

**答** 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金は①地域における消費喚起に直接効果がある事業②主に個人に対する直接給付事業③域内消費喚起効果が高い事業の3点を推奨しており、本市としても交付金を活用するプレミアム付商品券発行事業を実施していきたい。

**マイナンバー制度での医療情報共有化と、その活用は**

**質問** マイナンバー制度での医療情報共有化と、その活用についての考えは。

**答** 本市は平成26年4月から調剤情報共有化システムによる医療情報共有化を運用開始している。今後、この調剤情報の二次利用について、システム開発を行っている。

公共建築物木造化事例①



日田市の地材地建の事例

学校の木造化・内装木質化に積極的に取り組んでいます。

**問** 大波止ホテルの解体について

**答** 平成27年度中に解体できるよう進めていきたい



網本 定信 議員

**質問** 大波止ホテルの解体についての考えは。

**答弁** 近隣へ被害が及ぶ前に早急に解決しなければならぬ問題であり、早期に条件を整え、平成27年度中に解体できる よう進めていきたい。



旧大波止ホテル

**まち・ひと・しごと創生事業についての考えは**

**質問** 本市の10年後に向けて、まち・ひと・しごと創生事業の市民との協働事業を生かした考えは。

**答弁** まち・ひと・しごと創生事

業については、昨年の10月に立ち上げた五島市人口減少問題対策本部を五島市まち・ひと・しごと創生本部に衣替えをし、産業の振興、交流人口の拡大、子育て支援を中心に検討を進めている。産業の振興、交流人口拡大については、世界遺産、再生可能エネルギー、椿マグロ養殖を中心に、本市の地域資源を活用した事業を展開していく。また、UIターン対策、雇用の創出、定住促進、結婚・出産、子育て対策、安心な暮らしの確保など今後5年間の総合戦略を27年度中に策定したいと考えている。

**地域の絆再生事業についての考えは**

**質問** 本市の10年後に向けて、地域の絆再生事業についての考えは。

**答弁** 27年度から市内全13地区で展開することとしており、自分たちの地域をもっと住みやすく、もっと元気にしていくため、地域住民と行政が手を携え、協働でまちづくりを推進することとしている。今後は、事業の検証を行い、各地域において、円滑に事業が進むよう支援していきたい。

**問** 法改正に伴う教育体制への影響は

**答** 教育への政治的な関与については影響ないものと考ええる



草野 久幸 議員

**質問** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による教育体制を懸念する声があるが、影響は。

**答弁** 教育の政治的中立、継続性、安定性を確保しながらの改正となっており、政治的関与については、影響ないものと考ええる。

**自然環境保全のための専門職員の育成・係の設置を**

**質問** 五島には貴重な動植物や自然が残っているが、自然環境保全のための専門職員の育成・係の設置をすべきでは。

**答弁** 現在、自然環境保全については、生活環境課が所管しており、現時点では専門職員の育成・係の設置について考えていない。

**人口減少対策の柱となる総合戦略の基本的な構想は**

**質問** まち・ひと・しごと創生法が制定され、本市も総合戦略を策定することになるが、人口減少対策の柱となる総合戦略の基本的な構想は。

**答弁** 基本的には国が示している地方版総合戦略①安定した雇用②地方への新しい人の流れを作る③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るの4つの政策分野に沿って総合戦略を策定していきたい。



大瀬崎のハチクマ

**問** 各地区及び二次離島における防災訓練の状況は

**答** 消防団と合同で消火訓練及び住民避難訓練を実施している



林 睦浩 議員

**質問** 災害に強い防災まちづくりに係る各地区及び二次離島における防災訓練の状況は。

**答弁** 各地区及び二次離島地区では、定期的に老人ホームや老人福祉施設において、消防団と合同で消火訓練及び住民避難訓練を実施している。また、各自主防災組織や町内会が主体となり、消火器や消火栓を使った初期消火訓練やAEDの使用方法などの救急救命訓練を行っている。

**スポーツ、文化活動への支援拡充を**

**質問** スポーツ、文化活動で県大会等へ出場するための旅費の支援拡充を。

**答弁** 社会体育・スポーツにおいては、普及振興と競技力の向上を

図ることを目的に補助制度を創設しており、予選会を経て県大会以上の大会に出場する小中学生や九州大会以上の大会に出場する一般の個人・団体に助成している。文化活動については、補助制度はないが、長崎県少年少女合唱団合同演奏会への参加に対し、助成を行っている。

**スポーツ合宿所の整備を**

**質問** スポーツ合宿所の整備が必要と考えるが。

**答弁** 島外から65の団体が合宿を行っており、全国的に有名な実業団チームの合宿も増えている。合宿所の整備については、慎重に検討する必要がある。民間の圧迫、市への経済波及効果を考えてると、市内の宿泊施設の活用や民泊機能の増強等に対応していきたい。



ヤマダ電機女子陸上部

**問** 介護保険制度の改定による支援体制は

**答** 地域と連携し、支援体制の確立を図っていき



江川美津子 議員

**質問** ①要支援者サービスの訪問介護、通所介護が新総合事業へ移行されるが、その時期は。②必要な支援体制は確保できるのか。

**答弁** ①平成27年10月に移行を予定している。②既存の介護事業者に新たに地域ミニデイサービスなどを加えた体制となる。今後も元気な高齢者によるボランティア活動やシルバー人材センターの活用とも合わせ、地域と連携しながら、支援体制の確立を図っていきたい。

**子どもの医療費助成を現物給付に**

**質問** 子どもの医療費助成を現物給付にできないのか。

**答弁** 本市の障がい者及びひとり親家庭の医療費助成は償還払いのため、総合的に判断する必要がある

る。また、国保会計への国の補助金が減額になることから現時点での実施は困難と考える。

**人口の社会減の調査を**

**質問** 転出の要因を把握し、施策の参考にするために社会減の調査をしては。

**答弁** 本市への転入・転出については、世代や転出理由についてデータが全くない状況であるため、3月1日から来年2月末日までの1年間で調査を行う予定である。



転入転出アンケートBOX

**問** 有害鳥獣対策へのさらなる取り組みを

**答** わなやセンサーカメラを増設し、捕獲従事者の増加を図りたい



明石 博文 議員

**質問** イノシシの生息状況と被害対策は。

**答弁** イノシシの生息状況は奈留島、福江島、久賀島の順で生息密度が高い。イノシシの防護、捕獲すみ分けのそれぞれの対策をバランスよく行う必要がある、わなやセンサーカメラを増設するとともに、情報通信技術を活用した捕獲監視装置の設置等捕獲圧を高めていきたい。

**地域の絆再生事業の取り組み状況は**

**質問** 今後の地域の絆再生事業の取り組みは。

**答弁** 26年度に奥浦・三井楽・奈留の3地区で実施し、27年度から市内13地区で実施することとしている。3地区の活動内容などの事

例紹介や、市内13地区の情報共有なども図りながら、それぞれの地域の特色を生かしたさまざまな活動が、主体的かつ円滑に実施されるよう支援していく。

**再生可能エネルギーの取り組み状況は**

**質問** 浮体式洋上風力発電と潮流発電の今後の取り組み状況は。

**答弁** 浮体式洋上風力発電や潮流発電の実用化に向け、国、県、関係団体と連携しながら取り組んでいく。また、関連する地域産業の振興や人材の育成を図るとともに、雇用創出や地域の活力向上につながるよう導入を目指していきたい。



潮流発電のイメージ

**問** 特定健診の受診率向上の取り組みは

**答** 未受診者への再通知や家庭訪問を行っている



菊谷 岩雄 議員

**質問** 本市の平均寿命は平成25年で、県内最下位となっている。

特定健診の受診率向上のための取り組みと状況は。  
**答弁** 受診率向上への取り組みとして、健診通知の徹底、夜間健診や健診結果の説明会、未受診者への再通知、家庭訪問、事業所健診のデータ提供、健康推進員や

2013年 平均寿命データ

(単位：歳)

	男 性			女 性		
	平均寿命	平均自立期間	健康寿命	平均寿命	平均自立期間	健康寿命
全 国	79.64	78.17	70.42	86.39	83.16	73.62
長崎県	78.89 (43番目)	77.55	69.14	86.33 (26番目)	83.23	73.05
五島市	77.29 (21番目)	76.11	-	85.85 (13番目)	82.82	-

**人間ドックの受診状況は**

**質問** 人間ドックの受診状況はどのようになっているか。

**答弁** 人間ドックの実績は、平成25年度に58人、26年1月末で45人の受診となっている。これまでは、基本健診分に旅費やオプションなどを含めた費用の7割を助成してきたが、27年度からは市内病院での検診分として2万円、市外病院の検診分として3万円の定額助成を行うこととし、これまでより多くの方が利用可能となる。

町内会による受診勧奨を実施している。また、平成27年1月末の受診率は36.7パーセントで、前年同期より1.4ポイント上回っているものの、まだ低い状況にある。

**質問** 受診者の反応は。

**答弁** 特定健診と同時に、がん検診も実施しているが、「前立腺がんが早期に見つかり助かった」、「大腸がんが早期で助かった」など早期にがんが見つかり、治療がうまくいったという声が寄せられている。



### 問 本市の経済動向は

**答** 景気は回復傾向にあるが、実感するまでには至っていない状況である



橋本 憲治 議員

**質問** 本市の経済動向をどのように考えているか。

**答弁** 平成23年度の市民1人あたりの総生産は、平成20年度と比較して3.8パーセントの伸びとなっている。有効求人倍率は、本年1月には1.0と過去最高の数値となっており、景気は回復傾向にあると見られることもできるが、まだ景気回復を実感するまでには至っていない状況である。

### 離島活性化交付金の海上輸送費助成対象品目の拡大を

**質問** 離島活性化交付金の海上輸送費助成対象品目の拡大に取り組むべきでは。

**答弁** 離島活性化交付金を活用した海上輸送費の助成は、4品目以内となっているため対象品目を拡

大するよう国に対し要望していきたい。また、航空路運賃の低廉化や物資の輸送コスト助成については、国境離島新法の中で実施できるように要望していきたい。

### 住宅・店舗リフォーム助成事業の継続を

**質問** 住宅・店舗リフォーム助成制度は補助金交付額に対して、事業総額が1.5倍と大きな経済効果を生み出している。長引くデフレ経済の下では廃止ではなく継続すべきでは。

**答弁** 住宅・店舗リフォーム資金補助制度は廃止となるが、今後も中小企業の振興に努める。また、プレミアム付き商品券事業では、住宅などのリフォームに要した費用の支払いもできるよう検討している。



住宅リフォーム

### 問 第3次行政改革は

**答** 歳入に見合う歳出構造を構築したい



中村 康弘 議員

**質問** 今後5カ年の第3次行革、定員適正化の内容は。

**答弁** 第3次行革において、自主財源の確保、徹底した歳出の合理化を進め、歳入に見合う歳出構造を構築したい。また、定員適正化の推進にあたっては、個々の事業における業務量や今後の業務の推移、職員数などを検証し、効果の低い事業や外部委託すべき事業などを見直し、人口減少対策などの喫緊の課題や重点プロジェクトなどの重点施策の実現に向け効果的な人員配置に努めたい。

### 学校施設改築について

**質問** ①福江小学校旧校舍解体、グラウンド整備の時期は②岐宿統合小学校、緑丘小学校の改築は③福江中学校体育館改修工事時期は

**答弁** ①これから解体工事に入り、10月からグラウンド整備を行い、全体の完了を来年1月末の予定としている②岐宿統合小学校は27年度から着工し、平成29年4月開校を目標としている。緑丘小学校の改築については、29年度中の完成を目指している③防水工事も含め、本年秋に完了予定である。



現在の福江小学校グラウンドの様子

### 新年度からの入札制度は

**質問** 市発注工事予定価格、最低制限価格の新年度の取り扱いは。

**答弁** 最低制限価格は、県に準じて設計金額の90パーセントとすることにしており、昨年12月からホームページで公表している。

**問** 航路・航空路運賃の低廉化を

**答** 国へ強く要望したい



木口 利光議員

**質問** 航路運賃はJR並みとし、航空路運賃も具体的な目標を定め、国へ助成を求めるべきでは。

**答弁** 本市は国境離島としての役割を担っており、国境離島新法を一刻も早く制定いただき、その中で航路、航空路運賃の低廉化を国へ強く要望していききたい。



五島つばき空港

**宿泊施設不足の対策は**

**質問** 世界遺産に登録されると観

光客も増加すると思われるが、宿泊施設不足の対策は。

**答弁** 現在、市内の宿泊施設は1日最大1、848人の受け入れが可能であるが、時期によっては、要望に応えられない場合もあるため、県とも連携し、宿泊施設の誘致に取り組んでいきたい。

**肉用牛生産者の高齢化対策及び飼料等の生産費軽減を**

**質問** 五島農業の大黒柱である肉用牛生産者の高齢化対策及び飼料等の生産費軽減をどう進めるのか。

**答弁** 肉用牛生産者の高齢化は深刻な状況であり、えさ作りや牛の世話を分業化することで、作業の軽減化を図る。また、後継者等への相談体制や国・県の補助制度も活用した資金・技術面でのサポート強化により、担い手確保を進めたい。飼料等の生産費軽減については、離島活性化交付金による飼料移入運賃助成や、えさ作り専門のコントラクターの組織化、また放牧推進等により飼料代軽減を図っていききたい。

**問** 焼却場建設は最小限の規模にすべきでは

**答** 国の基準に従い必要最小限度に設定したい



片峰 亨議員

**質問** 現在、新しい焼却場建設計画が進められているが、温暖化や人口減を考え、最小限の規模にすべきでは。

**答弁** 施設規模については、建設費用の節減と、安定的にごみ処理が行える能力の確保を考慮し、国の基準に従い必要最小限度の規模としたい。

**油化還元装置の導入を**

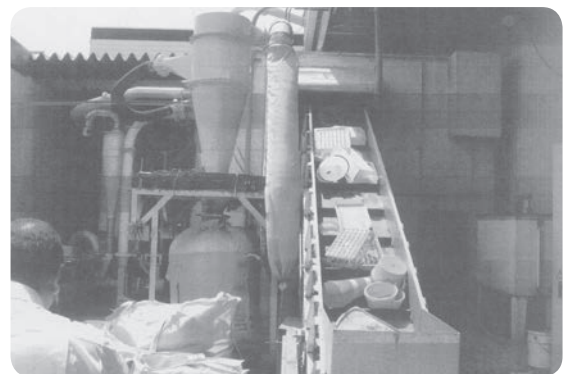
**質問** 油化還元装置で廃プラスチックを原料にA重油を精製することができることから、導入すべきでは。

**答弁** 現在、油化還元装置の実施事例が少ないことから、処理技術に関する情報収集に努め、調査研究していききたい。

**鹿の捕獲対策は**

**質問** 現在、鹿の生息域は市内全域に拡大しており、車両との事故が報告されている。大きな事故が起こる前に徹底した捕獲が必要では。

**答弁** 密度の高い地域においては、猟友会や専門業者、市直営により、わなを増設して捕獲を強化していく。また、猟友会と相談しながら、銃器による捕獲を行う人材の育成に努めていきたい。



廃プラ油化還元装置

## 問 離島漁業再生支援交付金事業の今後の取り組みは

### 答 漁業者の所得向上を目指す事業を展開する



野茂勇司 議員

**質問** 離島漁業再生支援交付金事業の10年間の成果と今後の取り組みは。

**答弁** 10年間の事業では、漁法導入、いそ焼け対策の全市的な取り組み、共同利用の魚礁や藻場礁の設置、水産加工、直売所の開設、陸上活魚センターの設置、クレーン車・活魚トラックの導入などの活動が展開され、生産性の向上や所得向上、労働環境の改善に成果が見られた。今後は、新規漁業就業者に対する漁船リース事業に対して3年間の補助を実施するとともに、生産性の向上や創意工夫の事業、体験漁業、共同販売事業などにも目を向け、漁業者の所得向上を目指していきたい。

## 問 江上天主堂付近の護岸工事完了後の現状は

**質問** 江上天主堂付近の護岸工事完了後の越波についての考えは。

**答弁** 県道奈留島線道路災害防除工事については、世界遺産登録候補である江上天主堂を中心とする景観重要地区内にあるため、景観に配慮した工法で整備している。従前の波返しパラペットより20センチメートルほど嵩上げし、波が越えないように施工したが、荒天の干潮時に護岸基礎部に当たった波が、しぶきとなって道路まで達している状況である。県も現状を把握しており、景観への配慮を含めた消波対策の検討をしているとの報告を受けている。



江上天主堂付近の県道奈留島線

# 禾女員会 分科会 の審査



**問** 音声告知システムの廃止に向けての取り組みは。

**答** 音声告知システムなどの電気通信機器の耐用年数は6年で、すでに更新時期となっているが、更新を行うと10億円近い経費が必要となること。また、昨年4月から防災行政無線の運用が市内全域で開始されていることから、廃止に向けての取り組みを進めているところである。ただ、この音声告知システムは、町内の連絡網として活用されている地区もあることから、その代替措置を示しながら説明会を開催し、平成27年度末の廃止に向け、地域の皆さんの理解を得ながら取り組みたい。

**問** UIターン促進事業における島暮らし支援住宅整備事業の概要は。

**答** 各支所地区と奥浦地区に1戸ずつの合計6戸の空き家を所有者から市が12年間無償で借り受け、UIターン希望者の本市への移住・定住促進を図るため、短期滞在用住宅として整備するもので、UIターン希望者の3か月から6か月の滞在に活用する計画である。



現在整備されている、UIターン希望者向けの短期滞在用住宅(富江高校教職員住宅)



**問** 生活困窮者自立支援事業の内容は。

**答** 生活保護に至る前の生活困窮者の自立支援策の強化を図るため、就労に向けた支援や自立に向けた相談支援及び住居確保のための給付金支給などを行う事業で、五島市社会福祉協議会へ委託を予定している。業務の体制としては、自立相談業務全般のマネジメントや他の支援員の指導・育成を行う主任相談支援員1名、生活困窮者への相談支援を行う相談支援員1名の計2名を専任で、あと1名を兼任で配置する予定である。

**問** 不妊治療支援事業の内容は。

**答** 近年、不妊治療に取り組む方々が増加傾向にあることから、医療保険が適用されない特定不妊治療について、治療に取り組む方の経済的負担の軽減と治療の機会を設けることを目的として、現在、県が実施する15万円の助成に上乗せを行う形で、県の助成額の2分

の1の7万5千円を支援することになっている。

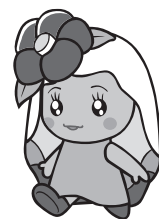
**問** 旧福江小学校解体及び緑丘小学校校舎改築の経費が計上されていることから、両校の今後の児童数の推移は。

**答** 平成26年5月1日現在の児童数は、福江小学校が474名、緑丘小学校が497名で、現在の0歳児が小学生となる平成32年度は、福江小学校が429名、緑丘小学校が483名と見込んでいる。

**問** 人口が減少し少子化も進む中において、2校も必要ないのではないのか。これから建設される緑小については、校区を変更し、建設棟数を縮減することはできないのか。また、これまでに校区の見直しも含め棟数の縮減について議論されているのか。

**答** 建設棟数の縮減については、児童数の推移も影響する部分もあるが、学校現場における多種多様な教育方式、さらに緑丘小学校には通級指導教室なども増設されていることから、これらのことを総合的に判断して検討したい。また、緑丘小学校の建設におい

ても、学校、PTA、市の関係各課で組織する検討委員会を設置して、検討を行っているが、これまでにそのような話題は出ていない。



**問** 有害鳥獣被害防止総合対策事業の内容は。

**答** 有害鳥獣による農作物の被害については、カラス、ヒヨドリ、スズメ等の鳥類による被害が最も多く、カラスについては、猟友会による銃での捕獲や専門業者による捕獲檻での捕獲を行っている。2月末で、捕獲檻により約2千羽を捕獲しており、今後は、大群が飛来するところの絞って対策を行うっていくことにしている。また、イノシシについては、拡散防止柵によりイノシシの動きをコントロールしながら、箱わなやくくりわなを増設するとともに、情報通信技術を活用した捕獲監視装置を設置し捕獲圧を高めていく。

**問** 椿まつりを充実させるための

**答** イベント開催委託料の内容は。現在の椿まつりは島内向けのイベントが多いことから、今後、島外のお客様の誘客につながるようなイベントの検討や、ランタンフェスティバルと合わせた旅行商品を作成していただくためにも、早めのイベント概要の決定と情報発信が必要と考えている。また、女性に椿の搾油体験や椿油を使って天ぷらを揚げるといった体験をしていただく等の情報を集め、新たに構築する観光ホームページの集客にも繋げていきたい。



新たに構築する観光ホームページ

## 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	五島市行政手続条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	五島市情報公開条例及び五島市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	五島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	五島市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定について	原案可決
議案第6号	五島市立保育事業所条例の制定について	原案可決
議案第7号	五島市黒瀬小規模保育所条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	五島市福江地区へき地保育所条例の廃止について	原案可決
議案第9号	地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第10号	五島市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	五島市国民健康保険診療所条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第13号	五島市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第14号	五島市立幼稚園条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	五島市児童健全育成基金条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	五島市青少年問題協議会条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	五島市漁船保全施設条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	五島市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	五島市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案第21号	漁船保全施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第22号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
議案第23号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第24号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第25号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第26号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第27号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第28号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第29号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第30号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第31号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第32号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第33号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第34号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第35号	長崎県病院企業団規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第36号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第37号	平成26年度五島市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第38号	平成26年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第39号	平成26年度五島市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第40号	平成26年度五島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第41号	平成26年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第42号	平成26年度五島市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第43号	平成27年度五島市一般会計予算	原案可決
議案第44号	平成27年度五島市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成27年度五島市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成27年度五島市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成27年度五島市診療所事業特別会計予算	原案可決
議案第48号	平成27年度五島市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第49号	平成27年度五島市大浜財産区特別会計予算	原案可決
議案第50号	平成27年度五島市本山財産区特別会計予算	原案可決
議案第51号	平成27年度五島市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第52号	平成27年度五島市公設小売市場事業特別会計予算	原案可決
議案第53号	平成27年度五島市港湾整備事業特別会計予算	原案可決
議案第54号	平成27年度五島市交通船事業特別会計予算	原案可決
議案第55号	平成27年度五島市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第56号	平成27年度五島市水道事業会計予算	原案可決
議案第57号	五島市課設置条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	五島市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第59号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第60号	五島市議会議員の議員報酬、費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決
議案第61号	五島市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第62号	五島市教育長の任命について	同意
議案第63号	平成26年度五島市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議会議案第1号	五島市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

**賛否一覧表**

○：賛成、×：反対

会派・議員名 議案番号	創 政 会					芯 風 会				椿 会		政策研究会7		日本共産党		研政会		五島市安全 安心なまち づくりの会	公明会	政策会
	明石 博文	木口 利光	神之浦伊 佐男	谷川 等	野茂勇 司臣	清川 久義	野瀬 健一	林 睦浩	三浦 直人	草野 久幸	古川 雄一	網本 定信	菊谷 岩雄	江川美 津子	橋本 憲治	宗 藤人	村岡 末男	中村 康弘	相良 尚彦	片峰 亨
議案第1号 ～第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第11号 ～第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 ～第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第47号 ～第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第62号は無記名投票

6月定例会は6月24日(水)開会予定です。



**議会広報特別委員会**

- 委員長 菊谷 岩雄
- 副委員長 村岡 末男
- 委員 野瀬 健一
- 委員 明石 博文
- 委員 中村 康弘
- 委員 野茂勇司臣

**編集後記**

ふと外へ出てみれば、桜は満開、PM2.5がかなり濃い。雲行きも……。明日はもう桜吹雪か……。  
 議会も、今期折り返しの後半へ入りました。各種委員会も、新たに構成替えし、この3月議会からスタートいたしました。  
 今回の議会広報特別委員会の委員は、6名中、4名が当委員会の経験者であり、心強く思っています。ともあれ第1回委員会においては、歴代広報委員会が作り上げてきた「議会だより」の内容を踏襲していくとともに、皆様により解りやすく、ご愛読いただけるよう、今後も研修を重ねて、よりよい紙面づくりに邁進すべく、委員一同、決意しています。皆様には、どうかよろしくご指導賜り、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。  
 (菊谷 岩雄)

**インターネット議会中継**

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。  
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>